

### 地域情報化アドバイザー制度活用報告書（4日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	塩竈市	代表者名	佐藤 光樹
担当者部署	市民総務部財政課デジタル推進室	連絡先電話番号	022-355-5782
担当者役職	主査	担当者氏名	木村 友洋
住所	985-8501 宮城県塩竈市1番1号		

#### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川口 弘行
評価	大変よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	自治体DX推進計画に基づく、情報システムの標準化・共通化について、自治体がやらなければならないこと、原課がしっかりと自分たちの業務を踏まえ、調達仕様書の作成などに取り組んでいかなければならないのかをあらゆる言い方ではなく、はっきりと物事の良し悪しを説明していただきました。 また、事業や課題に取り組むにあたって、問題の定義をはっきりとさせないといけないのか、本市職員が意識したり、指摘されたりすることの少なかった点を具体的に説明していただけて、大変よい機会になったと思います。
アドバイザーへの要望事項	

#### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年3月2日	13時00分	15時10分		130
	派遣形態	支援・助言（オンライン）			

#### 4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

#### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員(情報システム及び行政手続のオンライン化担当部署)	14 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	DX担当部署の推進体制が不足していること、職員のICTリテラシーの低さやベンダーへの依存から、情報システムの標準化・共通化に関する認識がほとんどない状態であった。本市としては、令和6年度を目標としているところ、目標年度での達成が非常に厳しい状況にある。 また、行政手続のオンライン化でも、今まで本市でのオンライン申請の取り組みが無かったことから、手続オンライン化に伴う業務フロー見直しの必要性などの認識が低い状況にある。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	情報システムの標準化・共通化及び行政手続のオンライン化へ一刻も早く具体的に取り組んでいくため、事業の概要及び原課における取組意識の醸成・本市における現状を把握してもらう。	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	情報システム標準化・共通化の事業概要と取り組み方について、国の動きも含め、必ずやらなければならないことで、人任せにするものではないこと、また標準仕様書がどのようなものか、それを踏まえてどのように調達仕様書を作成していかなければならないか説明していただきました。 行政手続のオンライン化については、住民の利便性向上や内部処理の効率化などを目的としてオンライン化を導入するにあたり、課題解決のための手段として適切なかどうか、問題の定義と解決策を明確にすることが必要だということを説明していただきました。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	情報システムを所管する原課より参加した職員に、情報システムの標準化・共通化が自らの業務として取り組まなければならないことや取り組み方を認識してもらい、現状に関してスケジュール上切迫していることを認識してもらうことができました。 また、行政手続のオンライン化について、この事業に限らず、上から示されたことをやらなければならないなど、しっかりと問題の定義と解決策を考えることが少ない状況にあったため、事業や問題に取り組む際の考え方を改めなければならないことを示すことができました。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	一部の担当職員のみ参加となり、また参加職員に管理職員がいなかったため、組織として事業やその取り組み方について認識してもらうまでには至っていません。 次年度は、管理職員を含めた全職員に対して、自治体DXやそれに基づく情報システムの標準化・共通化等の事業に関する研修などを実施し、組織としても目的を持って取り組んでいけるように促す予定です。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事業に関する説明をしていただいた上で、主としてディスカッションをする予定であったため、アンケート実施を予定していませんでした。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子






### 自治体DX推進と 行政情報システム標準化について

---

2022年3月2日  
塩竈市 地域情報化アドバイザー

川口弘行合同会社 川口 弘行  
hiro@kawaguchi.com

Hiro KAWAGUCHI Laboratory


### デジタル技術を使った役所窓口改革

---

2022年3月2日

川口弘行合同会社 川口 弘行  
hiro@kawaguchi.com